

看護実践・キャリア 支援センター通信

2020年
3月

看護基礎教育 実習指導者の教育能力育成プログラム

Vol.19

1月10日（金）に、実習指導者研修を行い、臨床実習指導者37名と看護学科教員15名が参加しました。

この研修は、今年度の上級臨床指導者育成プログラムを受講している4名が運営しました。「未来の看護師を共に育てよう！」というテーマで、看護教育の指導的立場にある教員と臨床指導者が、互いの課題を出し合い役割・目標を再認識する機会となりました。グループワークでは「より良い実習」についてディスカッションをしました。双方の熱意とともに考え方やアプローチの違いを知ることができました。



教員グループと指導者グループ双方から発表

学生の臨床実習に対するアンケート結果を元に行った意見交換では「今後の実習に活かせる」「多くのことを知り気付く機会となった」という意見がありました。

研修による交流で双方の関係性が深まりました。研修で得たことを実習現場に還元し続けられることを期待しています。



悩む学生への対応は

地域貢献事業

「遺伝性がんをめぐる診療と看護」研修

1月11日に当院産婦人科医師 新納 恵美子先生と当院乳がん看護認定看護師 宮城 恵先生を講師に「遺伝性がんをめぐる診療と看護」研修を行いました。



遺伝性がんを疑われた患者にどう伝えるか

今回は遺伝性のがんの中で、「乳がん」「卵巣がん」を中心に講義が行われました。研修では遺伝性がんのリスクだけでなく、実際に患者に告知とともに行う治療法の提示や家族リスク等、臨床の現場で遭遇するであろう事例を元に具体的な対応が説明されました。

研修後、受講生からは「(遺伝性がんへの) 基本的理解が深まった」「分かりやすかった。今後の対応に役立てたい」との意見が寄せられました。



令和元年度チェンマイ大学との学術協定に基づく チェンマイ大学附属病院への看護師派遣支援



2019年度チェンマイ大学交流事業で派遣された看護師2名の報告です。

11月10日～24日の2週間、チェンマイ大学に研修に行かせていただいた。チェンマイ大学附属病院では看護の質保証部や、看護部として情報管理システムに関する独立した部門があり、人材育成や看護師の能力に応じた人員配置や人事異動・管理、情報分析が行われていた。そのためのシステムをSEの専門的な知識を持った看護師が作成し、看護業務や病院経営に参画していた。一番興味深かったのは人材育成・人材管理に関するシステムである。患者数・重症度などから看護師の必要数を配置するシステムである。患者数や重症度・看護師数を公式のような計算式にあてはめ、看護師の適正人数を毎朝割り出している。それにより充足している部署から不足部署へ看護師の配置の応援機能をおこない全体最適（できるだけ無駄を省き内部構造を調整）を図っていた。患者への備品の説明や診察の予約をするにもQRコードが活用されていてIT化をいたるところで感じた。様々な背景が日本とは違うのでそのまま当てはまることはできないが見習うことが多くあり、とても刺激を受けた研修であった。

（看護部情報管理 師長 高木美由紀）

2019年11月の2週間、タイのチェンマイ大学へ研修に行かせて頂いた。タイはマッサージやハーブ等の自国の伝統医療を大切に守っており、それを医療ツーリズムにも上手く活かしている国である。私は以前から補完代替医療に興味があり、タイの伝統医療がタイの看護現場でどのように取り入れられているのかを学びたいと思っており、今回の研修参加は貴重な体験となった。

タイでは、腰痛等の慢性疼痛や産科の領域で補完代替医療は積極的に取り入れられていた。タイ伝統医療医や中国伝統医療医が、現代医療医と協力して治療が行われている機関もあった。がん治療にも補完代替医療が取り入れられているのか興味があったが、それに関してはまだまだ研究中とのことであった。しかしながら、大学病院内で様々な補完代替医療が取り入れられている場面があった。例えば、嘔気に対するハーブ、便秘やリラクゼーションの為のマッサージなどである。

今回の研修で、多くの知識や技術を学ばせて頂いたが、研修に関わって頂いた方々の温かなお気持ちは何よりもありがたく感じた。この研修で学んだことを、そのまま日本で活用することは難しいものも多いが、なんらかの形で活かしていけたらと考えている。

（B棟8階 森 恵）

3月18日には、報告会が行われ、たくさんの写真とともにタイの医療環境が紹介されました。写真の一部を紹介します。



上級臨床指導者育成プログラム

伝達講習

1月30日(木)、上級臨床指導者育成プログラム修了生による報告会が認定看護管理者教育課程(ファースト・セカンド)の伝達講習会と合同開催され、院内看護師を中心に120名を超える参加がありました。修了生4名から、看護教育における実習指導者と教育者がゴールが同じでも過程が違うこと、お互いが考えを伝え、成長し、変わっていくこと、学びほぐし(アンラーン)の大切さが報告されました。

また、今後の上級臨床指導者の活動の礎として「指導者向上委員会(仮)」立ち上げの検討についての



今年度修了生4名

提案もあり、指導者の教育力の向上と連携、臨床への還元がより進むことが期待されます。

修了式



高橋看護部長から修了証書授与

2月17日(月)、今年度の上級臨床指導者育成プログラムが修了し、受講生4名に高橋看護部長から修了証書が手渡されました。それぞれの専門分野の知識を更に深めつつ、知識を人に伝えるということに向き合ったこの1年間の経験を活かして、今後看護教育の現場の風土作り等々、臨床実習指導者のリーダーとして活躍していただきたいです。

特定行為研修成果発表会

2月18日(火)、今年度の特定行為研修の受講生による成果報告会が行われました。

午前の急性期コースでは急性期医療の中で起こるケースの難しさと同じく合ったものが、午後の在宅コースでは患者の機能維持に対する考察の発表が多くありました。

長時間の発表会でしたが、研修生からの学びや熱い思いが伝わり、これからの活躍が大いに期待できる発表でした。



学習と実践の先に見えた課題を考える

看護学科学生へのキャリアデザインプログラム

A Whole New World ~We can show you the world~—新しい奈良医大を見つけよう— 新型コロナウイルス対応のため 中止

2020年2月27日(水)、本学の看護学科3年生対象に、奈良県立医科大学附属病院の魅力を伝え、一人でも多く就職先として考えてもらう機会となるよう、A Whole New World ~We can show you the world~—新しい奈良医大を見つけよう—を企画していましたが、新型コロナウイルスの感染予防対策として、残念ながら中止となりました。参加希望してくださった3年生と、病棟見学や看護スタッフとの交流会に協力をお願いしていた部署や看護部スタッフの方々にも、この場を借りてお礼を申し上げます。今後も、医学部看護学科と病院看護部との架け橋となれるよう、頑張っていきたいと思っています。

特定行為研修 閉講式・修了報告会

3月18日（水）、看護師特定行為研修の閉講式及び研修修了報告が行われました。



閉講式参加の修了生と研修でお世話になった方々

今年度は急性期コース第4期生6名、在宅コース第2期生8名が研修を修了し、修了証書が授与されました。

約半年の机上学習後に急性期コースは院内で、在宅コースは12施設で実習を行い、課程を修了されました。今後、臨床の現場で得た知識・技能で活躍されることを期待します。

【在宅コース修了生より】

通院で困っている方や医療依存度が高い患者家族の負担の大きさに触れ、未熟な私に何が出来るだろうかと考えていたところ、在宅の特定行為研修があることを知り今回研修に参加することになりました。特定行為研修を受講することで、看護的な視点に加え医学的な視点の幅が広がったと感じます。

今後は、看護の専門性を主体とし、医師と同等の特定行為を安全に実施するため、体制づくりや手順書の作成を行い、患者が求めている医療ケアがタイムリーに行えるよう活動していきたいと思えます。

（特定行為研修在宅コース2期生：小林直子）

看護師特定行為研修 紹介（急性期コース）



■シミュレーターを用いた演習
動脈ライン挿入

平成28年4月から、本学では看護師特定行為研修（急性期コース）を開講しています。今年度は4期生6名が、4月からのe-ラーニングでの講義、対話形式の演習やOSCE終了後、10月から附属病院の集中治療部、救命センター、手術部をローテーションしながら、熟練した医師の指導の下、臨地実習を行いました。

特に本学には、多職種カンファレンスを定期的に行う等、医学的な見解に加え、患者やその家族の希望、さらにQOL等の多面的な視点を考慮に入れた患者の人格や生活を見据えた対話を行う風土があります。ほかの研修機関では学べないカリキュラムも導入しています。是非、ご応募ください。



■手術部実習

手術中のモニターを見ながら、VSや波形・数値に合わせた人工呼吸器や鎮痛鎮静薬・カテコラミン・輸液等の調整を学習する。



■多職種カンファレンス

ICUでのカンファレンスの様子。医師が、最新のエビデンスや深い経験知をもとに、患者にとって最善の治療は何か、日々熱い議論を繰り広げる。

今後のセンター事業

☆ 特定行為研修 閉講式 日時：4月7日（火）13:00～14:00 中止

☆ 「看護研究のキホン～日々の看護実践の中から研究の種を見つけよう！」

日時：6月6日（日）13:30～16:30 延期（日時未定）

☆ 「ドキドキ！初めてのストーマケア」 日時：7月4日（土）9:30～15:30

☆ 第2回奈良医大特定行為フォーラム 日時：7月12日（日）午後

